



平成23年度 ブラジル通信
 9月17日(土)~9月23日(金)
 No. 3
 発行者: 宮本 朋子

パラナヴァイ市の学校紹介

パラナヴァイ市には、1日制の学校が4校あります。現在そのうちの2校であるノエミア初等学校とカイーキ初等学校を拠点に交流活動を続けています。学校生活を通して、児童の留年制度や先生の勤務体制など、日本の学校制度と異なる点がたくさんあります。ここでは、2校を例にパラナヴァイ市の学校を紹介したいと思います。

休憩時間は、いつもにきやかな職員室！
 コーヒーや紅茶を飲みながら話をします



パンやクラッカー、フルーツもあるよ

	ノエミア初等学校	カイーキ初等学校
職員数 & 勤務体制	計29人 ①校長、教務担当、生徒指導担当：1日勤務 (7時半~17時<休憩11時半~13時>) ②正規教員15人：4時間勤務(7時半~11時半) ③大学生10人、日本でいう講師1人：6時間勤務 (11時~17時)	計23人(内日系人1人) ①校長、教務担当、生徒指導担当：1日勤務 (7時半~17時<休憩11時半~13時>) ②正規教員11人(内1日勤務5人、残りの6人は、 午前または午後4時間勤務) ③大学生9人：6時間勤務(11時~17時)
	<ul style="list-style-type: none"> 上記の職員以外に、事務職員、給食を作る人や清掃員などもいます。 校長先生は、保護者や学校職員、学校で働いている人が選挙で選びます。任期は2年。カイーキの校長先生は、15年勤務しており、そのうち9年校長をしているそうです。また、教務担当や生徒指導担当は、校長先生に任命権があります。 教員の移動はなく、原則希望校に勤務可。ただし、人気校は試験の成績順で決まります。 パラナヴァイ市では、先生のお昼休憩が1時間半必ず確保されており、完全に自由。家に帰ったり、銀行に行ったりして過ごしています。 どの学校に行っても、③の6時間勤務の先生がおり、その大半が大学生です。昼放課の児童の世話から授業のサポートまで様々なことをしてくれます。また、教員採用試験の受験資格は18歳から認められており、学生をしながら正規教員になれるシステムになっています。 授業研究や教材準備の時間が、勤務時間内に週4時間保障されています。その時間は、サポートする先生が児童の世話をしてくれます。 	
児童数	180人(内日系人2人：日本語は話せない)	276人
1クラスの児童数	1~3年→→→25人まで 4・5年→→→35人まで	1・2年→→→25人まで 3・4年→→→30人まで 5年→→→→40人まで
<ul style="list-style-type: none"> 児童は、自分の居住地区にある学校に通いますが、教室の数の関係上、ある程度人数が集まってしまうと入学・転入することができなくなります。その場合、バスで他地区の学校に通うことになります。ただ、中には、居住地区に2校以上学校のある地区もあり、そこでは自由に学校を選択することができます。 申し込み順でクラス分けをします。問題児童がいる場合は、その都度クラスを変えるそうです。 		



カイーキの昼放課は、映画鑑賞やレクリエーションなどを行っています

	ノエミア初等学校	カイーキ初等学校
留年	各学年2人程度 ・出席率(75%以上)と成績により留年が決まります。ある3年生のクラスには、14歳と13歳の児童と一緒に勉強していました。 ・遅進児指導をするクラス(APOIOやRECURSO)で、できるだけ留年しないように指導しています。	全体の8%(22人程度)  APOIO教室 単語ゲーム!誰が一番速いかな?
教科	ポルトガル語、算数、歴史、地理、理科、文学、体育 上記の科目を午前中に行い、午後からは 選択授業 (柔道、空手、新体操、水泳、コンピュータ、音楽など)。※波線は親の許可がいる。ただし、遅進児は、 選択授業を受けず、APOIOクラスで学習。	上記の科目以外に、 柔道、ダンス、コンピュータ の授業があります。体育館のある学校なので、体育ではバスケットボールやバレーボールなども行っています。
時間割	<p>《1~5年生の時間割》</p> <p>1時間目 7:30~8:45 2時間目 8:45~9:45 放課 (15分) 3時間目 10:00~11:30 給食&昼放課 (1時間10分) 4時間目 12:40~13:30 5時間目 13:30~14:25 放課 (20分) 6時間目 14:45~15:40 7時間目 15:40~16:30</p> <p>※午前中は学習、午後からは活動と分けて授業を組んでいます。しかし、4~7時間目は、全て選択授業が入るわけではなく、大学生や講師による補習等も行われています。</p>	<p>《3~5年生の時間割》</p> <p>1時間目 7:30~8:30 2時間目 8:30~9:20 放課 (20分) 3時間目 9:40~10:30 4時間目 10:30~11:10 給食 11:10~11:25 昼放課 (1時間半) 5時間目 13:00~13:50 6時間目 13:50~14:30 7時間目 14:30~15:10 放課 (20分) 8時間目 15:30~16:20 9時間目 16:20~17:00</p> <p>※大きな学校なので、1・2年生と3~5年生で時間割が異なり、1・2年生は、7時半~17時までの8時間授業となっています。</p>
特徴	・パラナヴァイ市で唯一、 耳の聞こえない人のためのクラス があり、市から送迎の車がでています。(無料)手話を学習する時間もあります。	・柔道がとても強く、トロフィーがいくつもあります。 体育館や集会所 などがあり、他校より校内が広いです。
支給されるもの	教科書、ノート、学習用具(鉛筆や消しゴム)、体操服など、全て市が支給してくれます。もちろん 食事代も無料 。今の市長になってからは、リュックや連絡帳まで支給してくれます。支給されているリュックが、何でも無料でもらえるため、子どもたちはあまり物を大切にしないそうです。 	

ブラジルでは、教育改革が進められていることもあり、この10年で識字率が70%から90%まで上がったといえます。とても素晴らしいことですが、実際の学校現場では、落ち着いて学習できる体制が整っている学校は、まだまだ少ないと感じました。

使わなくてもいいそうです

CENSI 訪問

山川前市長の奥さんの紹介で、パラナヴァイ市が管轄している少年院を訪問しました。この施設には、盗みや薬物使用などで逮捕された18歳以下の少年が収容されています。現在ブラジルでは、少年による薬物乱用が増え、大きな問題になっているそうです。

この日は、年に3~4回開かれる発表会?のような日で、様々な外部団体が来院していました。施設内にある広場では、太鼓や楽器演奏、CECAPによるバレエやリコーダー演奏のほか、収容されている少年によるストリートダンスや劇などの発表も行われました。心を豊かにし、社会復帰への一助となるために開催されている会で、『もう二度とここには戻らない』と誓った少年の主張が、心に響きました。

鉄柵が施設を
囲んでいました



施設の入り口!



施設内は撮影禁止でした

エニエラ州立学校での再会

通信第2号で紹介した、豊橋出身の子が在籍しているエニエラ州立学校を訪問しました。州の学校は、2部制をとっており、彼女は午前中5時間ここで学習しています。今回、彼女の抱えている問題を学校側がどの程度理解しているのかを把握するため、教務担当の先生を交えて、彼女と面談をしました。

州の学校は3学期制をとっており、ちょうど2学期の成績がでたところでした。彼女の成績をみせていただいたところ特に問題はなく、心配なのは欠席が多いということでした。彼女は、成績だけでなく出席率でも留年するという事実を今まで知らなかったようで、この事実を知ってとても動揺していました。また、ブラジルの学校は2月から始まりますが、2月生まれの彼女は、1学年上のクラスに在籍していることもわかりました。授業についても、教科の先生や友達がサポートしてくれることで何とかついていっていること、日常会話のポルトガル語はわかるが、学習用語は難しいことなどの実態も伝えました。そこで、学校側として、学校制度について保護者に再度説明をすること、知り合いに2~3年日本にいたことのある先生がいるので、その人に個別指導をお願いすることを約束してくださいました。今回の面談がなければ彼女の問題に気づくことはできなかった、と感謝されましたが、まだまだ問題は残っているように感じます。彼女が今後戦っていかねばならないのは、彼女の取り巻く環境だけでなく、彼女自身なのかもしれません。今後の動向を見守ってまいります。



元氣にがんばっています☆



ぶらっとブラジルク・イ・ス♪

ブラジルでは、マンジョッカというイモがよく食卓にならびます。実はこのイモは、日本でも姿を変えて食べられているのです。それは、どんな食べ物でしょう?

- ① ナタデココ
- ② タピオカ
- ③ コンニャク



木の根っこみたいです

答え: ② (マンジョッカは、キャッサバという名前でも呼ばれており、タピオカの原料になっています。また、ボンデケーショにも使われており、あのモチモチ感は、ここからきているのです。)